

ちゅういっぷ ぐみ

生活リズムが徐々に整い始め、最近は遊びの時間にみんなで様々な感触に触れる機会を持つようにしています。つい先日は絵の具を塗り、手型や足型をとりました。筆の感触について、手や足が動いていたり、手や筆先をじっと見つめたりと様々な反応がありました。手形は年度末の作品綴じに入れて持ち帰ります。



自分の手形をじっと見つめる様子

手形を押した隣に自分でペタン



お座りが安定してきた子は、園庭では砂場で遊んでいます。初めての砂の感触に驚いたり、手についた砂をじっと見たりしていました。



室内で風船に触れて遊びました。まだ歩き始める前の子どもでも目の前に風船があると手で持とうとします。風船に全身で乗ろうとしたり、あむっと噛んでみたり…。大人はハラハラしてしまいますが、怖いもの知らずの子ども達は色々な事をして感触を楽しんでいました。



「どこに行くのかな？」と思ったら、友だちの近くに行き、気になって手を伸ばしています。近頃はそんな様子も見受けられるようになりました。0歳児でも、友だちの存在を認識し、興味を持ち始めています。これは、社会性の芽生えであり、友だちとの関わりの第一歩です。友だちへの意識の芽生えも大切にしていきたいと思います。

避難訓練

ベテル保育園では、毎月1～2回避難訓練を行っています。火災や地震を想定し、さまざまなシチュエーションで訓練をしています。地震の時は、乳児クラスも防災頭巾を被ります。被ると頭が気になって上を向いたり、脱いでしまったり。まだ違和感があるようですが、徐々に慣れていけるようにしていきたいと思います。

